

令和2年度予算の概要

二松学舎創立140周年(平成29年10月)を機に策定した新長期ビジョン「N'2030 Plan」により、①N'2020 Planの基本理念、フレームワーク等の踏襲 ②教育の方向性と充実策 ③包括的・学生・生徒支援体制の構築 ④キャンパス整備 ⑤財政、人材育成、評価制度、組織、戦略的広報体制等の在り方の理念・方針に沿って、5年間の「アクションプラン」として目標を設定し達成に向け全学的に取り組んでいく。

当年度は附属柏中学校が設置10年目となる。附属柏高校との中・高を通じた教育の充実と生徒募集の強化を図り定員充足を目標とする。大学・両附属高校・中学校とも効果的な学生・生徒募集及び広報活動を実施する。

キャンパス整備については、大学では九段校舎1号館学生食堂、トイレの改修、大学基幹ネットワークの再構築(2ヵ年計画による無線LAN整備)、教室付帯設備リプレース、大学院生控室のPC増設、移動式AVラック機器、講師室印刷機、ラーニング・コモンズ用端末の入替え、九段5号館修繕工事(収益事業部分を含む)、柏1号館空調設備工事、5号館外壁耐震対策工事、大学資料センター内除湿機設置などを実施する予定である。また、附属高校では1階ホール照明機器の更新、受変電設備の改修、理科薬品庫、冷水機の入替えなどを、附属柏中学・高校では東校舎教室の床張替え工事、南校舎2階講義室用机・椅子の整備、印刷機の入替えなどをそれぞれ計画している。

当年度収支については、収入面では大学・附属高校・柏高校の学費改訂、在籍者数増加により学納金収入が増加する見込みである。一方、支出面ではキャンパス整備の進捗に伴い、私学事業団への借入金返済のほか校舎・グラウンドの維持管理や情報システム機器の運用・保守費用、消費増税による経費増加など、長期に亘り多額の支出が続くことが予想される。令和2年度特別事業費申請案件については厳しく査定し、経常的な経費についても見直し・削減を強力に実施する。既存事業のスクラップ・アンド・ビルドを推進するとともに、アクションプランに織り込まれていない投資は極力抑え、不採算事業項目については縮小・廃止を検討し、収支改善を図ることを令和2年度の予算編成方針とした。

令和2年度の収支状況

1. 事業活動収支予算書について(別表1)

(1) 教育活動収支について

【収入】

- ① 収入の柱である学生生徒等納付金は、約44億3千1百万円となる見込みである。
- ② 手数料は、入学検定料を主として1億5千4百万円を見込んでいる。
- ③ 大学及び両附属高等学校並びに柏中学校の経常費等補助金は9億5千4百万円を見込んでいる。
- ④ 雑収入は、退職金団体からの交付金6千6百万円と併せて1億2千1百万円を見込んで

いる。

【支出】

- ① 人件費は、大学、附属高校、柏中学校・高等学校の教職員給与および退職給与引当金繰入額として29億6千万円を見込んでいる。
- ② 教育研究経費は、施設設備の維持管理、ICT環境の充実、情報管理室業務および図書館業務のアウトソーシングほか特別事業費および減価償却額などにより、19億5千1百万円を計上している。
- ③ 管理経費は、教育研究経費と同様に施設設備の維持管理費と事務システム関連経費および減価償却額などにより、5億1千8百万円を計上している。

これにより、教育活動による収支差額は2億9千2百万円(収入超過)となる見込みである。

(2) 教育活動外収支、経常収支について

資金運用による受取利息配当金収入が1億8千8百万円、借入金利息の支払額が1千1百万円となり、経常収支における差額は4億7千1百万円(収入超過)となる見込み。

(3) 特別収支について

その他の特別収入として主に施設設備に対する助成金等を8百万円見込んでいる。また、施設設備(備品、図書を含む)の除却額等の固定資産処分差額を1千2百万円見込んでおり、特別収支差額は5百万円(支出超過)を計上している。

これらにより、基本金組入前当年度収支差額は4億6千7百万円を見込んでいる。当年度の基本金組入額は、施設・設備の整備及び教具・器具・備品の取得及び借入金返済などにより6億5千1百万円を計上している。この結果、当年度収支差額は1億8千5百万円の支出超過となる見込みである。

2. 資金収支予算書について(別表2)

収入の部は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入、資産運用収入、退職金団体交付金を含む雑収入などにより、当年度収入額は71億5千3百万円となり、前年度繰越支払資金と合わせて収入額合計は99億6千5百万円となる見込みである。

支出の部は、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、借入金等返済支出、施設・設備関係支出等により、当年度支出額は67億6千5百万円となり、翌年度繰越支払資金は31億9千9百万円となる見込みである。

別表1 事業活動収支予算書

(単位:百万円)

		令和2年度 (2020)	令和元年度 (2019)	
教育活動収入	科目	金額	金額	
	学生生徒等納付金	4,431	4,383	
	手数料	154	154	
	寄付金	56	56	
	経常費等補助金	954	974	
	付随事業収入	12	11	
	雑収入	121	241	
	教育活動収入計	5,728	5,819	
	教育活動支出	科目	金額	金額
		人件費	2,960	3,069
		教育研究経費	1,951	1,957
		管理経費	518	523
		徴収不能額等	7	7
		教育活動支出計	5,436	5,558
教育活動収支差額		292	262	
教育活動外収入	科目	金額	金額	
	受取利息・配当金	188	225	
	その他の教育活動外収入	3	9	
	教育活動外収入計	191	234	
	教育活動外支出	科目	金額	金額
		借入金等利息	11	15
		その他の教育活動外支出	-	1
教育活動外支出計		11	16	
教育活動外収支差額		179	217	
経常収支差額		471	479	
特別収支	科目	金額	金額	
	資産売却差額	-	79	
	その他の特別収入	8	93	
	特別収入計	8	172	
	特別支出	科目	金額	金額
		資産処分差額	12	364
		その他の特別支出	-	19
特別支出計	12	383		
特別収支差額		△ 5	△ 211	
基本金組入前当年度収支差額		467	268	
基本金組入額合計		△ 651	△ 582	
当年度収支差額		△ 185	△ 314	
前年度繰越収支差額		△ 3,147	△ 2,833	
翌年度繰越収支差額		△ 3,331	△ 3,147	
(参考)				
事業活動収入計		5,926	6,224	
事業活動支出計		5,459	5,956	

別表2 資金収支予算書

(単位:百万円)

科目	令和2年度 (2020)	令和元年度 (2019)
収入の部		
学生生徒等納付金収入	4,431	4,383
手数料収入	154	154
寄付金収入	56	133
補助金収入	955	979
資産売却収入	1,000	1,025
付随事業収入	14	20
受取利息・配当金収入	188	225
雑収入	121	241
借入金等収入	1	1
前受金収入	509	513
その他の収入	311	587
資金収入調整勘定	△ 588	△ 942
当年度資金収入合計	7,153	7,319
前年度繰越支払資金	2,812	2,993
収入の部合計	9,965	10,312
支出の部		
人件費支出	2,947	3,105
教育研究経費支出	1,398	1,390
管理経費支出	497	520
借入金等利息支出	11	15
借入金等返済支出	362	362
施設関係支出	98	122
設備関係支出	215	109
資産運用支出	1,122	1,521
その他の支出	226	528
資金支出調整勘定	△ 112	△ 172
当年度資金支出合計	6,765	7,500
翌年度繰越支払資金	3,199	2,812
支出の部合計	9,965	10,312

注) 金額は百万円未満を四捨五入しているため、合計額等が一致しない場合がある。